令和８年度 第２回山口県県民活動審議会の概要

１　開催日時・場所

令和８年１１月９日（月）　１０：００～１１：３０
山口県庁環境生活部１号会議室（本館棟９階）

２　出席者

委　員　　小田委員、洪委員、中川委員、藤本委員、山口委員
県（事務局）　山本環境生活部長、植木県民生活課長、
県民活動推進班　宮﨑班長、末廣主任、重枝主任、横田主事
やまぐち県民活動支援センター　伊藤センター長

３　審議内容

山口県県民活動促進基本計画の改定（素案）について
内容を変更する意見なし

【主な意見】

○　「県民活動」という言葉は一般の県民にとってなじみが薄く、活動のイメージが伝わりにくいため、ボランティアや地域活動など、分かりやすい表現を用いるとともに、コラムなどで活動事例がイメージできるような工夫が必要である。

○　小学校・中学校へのチラシの配布が難しくなっている中で、幅広い世代に県民活動の情報を届けるため、学校等との連携や、ＳＮＳ、ホームページ等の活用など、各世代の特性を生かした効果的な情報発信が必要である。

○　県民活動への参加を促進するために、参加する意義や地域への貢献が実感できる工夫が重要であり、活動を受け入れる団体側にも、参加者の意欲を高め、継続的な参加につなげるコーディネート力の向上が求められる。

○　ボランティアを受け入れる団体の受入体制やコーディネート力の向上に向けた研修に加え、プロボノなど、計画に位置付けた団体への支援手法について理解を深める研修の充実も必要である。

○　企業の県民活動への参画を促進するため、企業にとっても社会貢献を行う上でのメリットや社会的な評価を分かりやすく示すとともに、協働の成功事例を発信・モデル化するなど、企業への効果的な働きかけが重要である。

○　地域・社会課題を起点とした協働を進めるにあたり、地域の課題をどのように吸い上げ、協働につながる入口をどのように見つけていくか、具体的な方法を検討していく必要がある。